
鳥取軍政隊関係資料が語り出す

鳥取県立公文書館県史編さん室 西村芳将



「占領」とはなにか

▶ 2種類の占領

▶ 戦時占領

- ▶ 交戦国の軍隊が敵国の領土にはいってその地域を軍事的支配下におくこと 例:日本軍のシンガポール占領

▶ 保障占領

- ▶ 平時において一定条項の履行を確保する為に一国の軍隊が他国の一部(又は全部)を占領すること 例:下関条約に基づく日本による威海衛占領

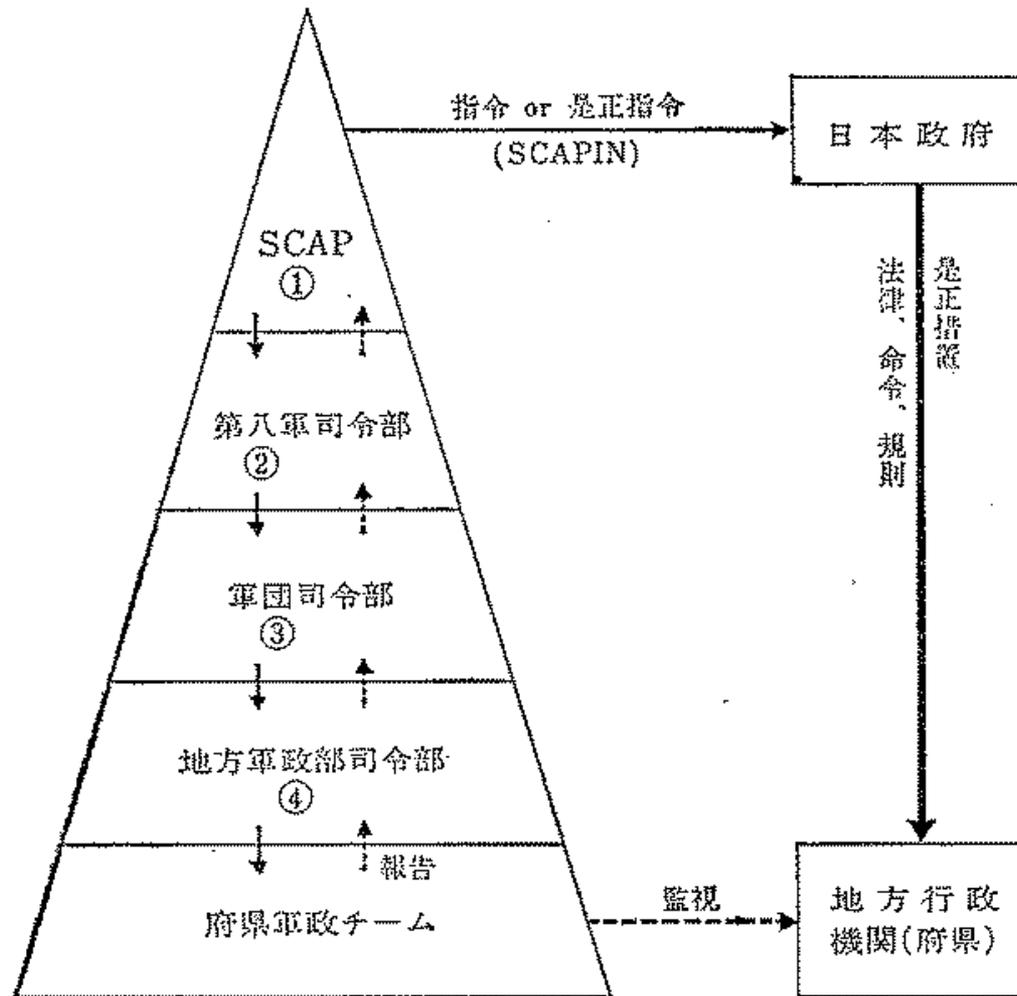
▶ 日本占領の特殊性

- ▶ 戦時占領(天皇と日本政府がGHQの支配下にあり独立していない)と保障占領(日本政府を通じた間接統治)の両面
- ▶ 1945年8月から1952年4月まで、6年8ヶ月の長期間

参考:西川祐子「占領」とはなにか(『戦後史再考』平凡社)



GHQによる日本占領管理のメカニズム



「進駐軍」と呼んだのはなぜか

- ▶ 占領される立場にあった日本は「占領」という言葉を忌避。
- ▶ 占領軍側も懐柔のために「**進駐軍**」という呼び方を選択。
- ▶ 新聞報道は「**進駐軍**」に統一 ⇒ 資料「記事一覧」
- ▶ 「占領軍」という分析的な用語が用いられるようになるのは1952年のサンフランシスコ講和条約発行後

参考：西川祐子「占領」とはなにか（『戦後史再考』平凡社）

占領期はいつからいつまでか

▶ 始期

- ▶ 1945年8月28日 占領軍先遣隊が厚木基地到着
- ▶ 1945年8月30日 連合国最高司令官マッカーサーが到着
- ▶ 1945年9月2日

▶ 終期

- ▶ 1952年4月28日 サンフランシスコ講和条約発効
 - ▶ 戦争の終結、領土範囲、賠償を規定
 - ▶ 日本は主権を回復(ただし奄美・小笠原・沖縄は米施政権下に)



鳥取に進駐した占領軍の3区分

▶ 実戦部隊 Tactical Troop

- ▶ 岩倉兵営や美保飛行場などの旧日本軍施設の武装解除と接收、治安維持を行うために駐屯した部隊。1946年5月に中国地方の占領管轄が米軍から英連邦軍に交代し、鳥取県にはインド軍(岩倉)、英・印空軍(美保)が駐屯。

▶ 対敵諜報部隊 Counter Intelligence Corps

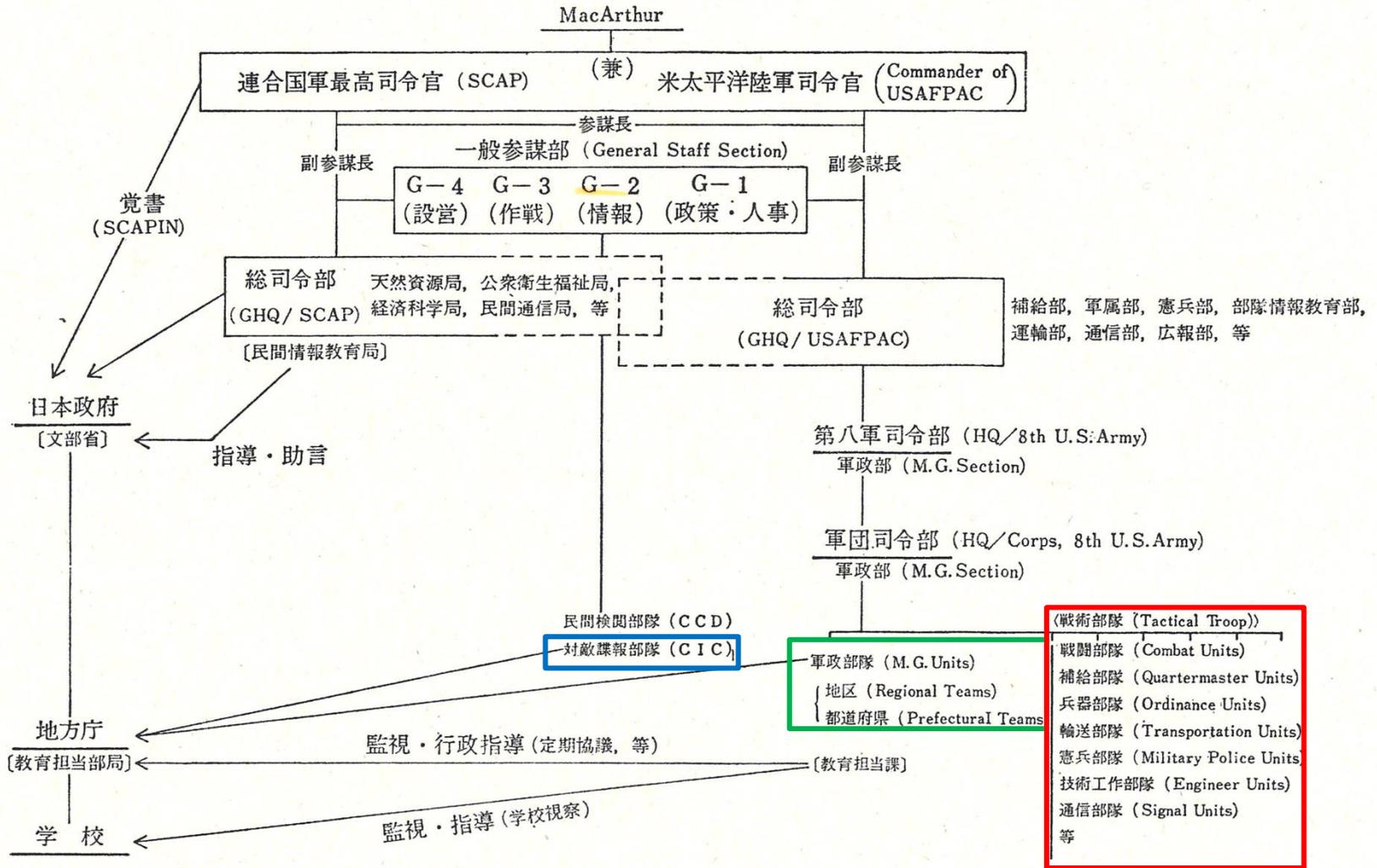
- ▶ 占領政策遂行の障害となる事項を探查摘発した組織。活動の内容は不明。日系人を多数登用。

▶ 軍政部 Military Government Unit (team)

- ▶ 占領政策の地方レベルの進捗を監視した組織。弁護士・退役軍人などの文官が多い。米第8軍司令部に月例報告を提出。



図 1-1 対日占領管理機構図(1946年7月現在)



(注) 下記の諸資料を参照し、教育管理を中心として作成した。

第八軍司令部 “Status of Units and Station List” (『GHQ/SCAP Records』 CAS (B) 3586, “Headquarters 8th U.S. Army” (『外務省外交資料』 F13 p.505), 竹前栄治『占領戦後史—対日管理政策の全容』 (1980) p.39

軍政部の任務

▶ 任務

- ▶ observe and check(監視と点検)
- ▶ inform(占領のねらい・命令等の啓発)
- ▶ report(命令の不履行状況の報告)
- ▶ make suggestion(命令不徹底の場合の助言)
- ▶ encourage and Advise(鼓舞と忠告)
- ▶ keep informed(上級軍政部への報告)



軍政部の名称・隊長・事務所・住居

	第1期 1945.12-1946.06	第2期 1946.7-1949.06	第3期 1949.7- 1949.11
名称	第76軍政中隊鳥取支部 第36軍政中隊鳥取支部	鳥取軍政部	鳥取民事部
隊長	45.12オスボン少佐 →46.2サリバン少尉	(46.6アリマ中尉) 46.7ノーラン少佐 47.5ヴァンダーツイーブ中佐 48.11メイヤー少佐	
事務所	県庁内 →ベネット氏所有の元宣教 使宅(鳥取市西町、営林署 向かい)	大日本教育会鳥取支部(鳥取 市東町の教育会館)	
住居	同上 仁風閣裏に建設	将校:上町地区の邸宅 下士官:観光ホテル2階	



図209 県教育会建設の教育会館（東町）のち県教組の本部となる。



●仁風閣裏(将校宅)

●教育会館

●元宣教師宅

●木村清一宅

●新築

●上町地区接收

●観光ホテル

●RTO(Railway Transportation Office)

元渉外局長上根政幸氏の手記

▶ 「鳥取県庁今昔記」(「山陰評論」1963.3号)

- ▶ 終戦と同時に鳥取市にも軍政隊がやってきた。オフィスはいまの県教組のある建物であり、隊長の宿舎は仁風閣裏に建てた。県庁には進駐軍対象の渉外局が新設され、、、軍政隊長はバンダーツウィープというアメリカ軍の砲兵中佐で私とは親しい間柄となった。アメリカ軍政隊とは別に、中国地方の占領軍として進駐してきた英連邦軍の情報部があり、その隊長はウイルソン・フランクという弁護士出身の隊長だった。(略) 美保航空中隊からきたモックスレー航空大尉(略)に居住家屋を探すことを強要され、適当な接收家屋がないから隊の方で家を建ててもらいたいと半分はケンカ越半分は懇願して、とうとういま公安調査局と理容学校になっている檜谿の進駐軍官舎を建てさせた(後略)



軍政レポートとは

- ▶ “Military (Occupation) Activities Report”
- ▶ 概要
 - ▶ 府県軍政部 Tottori Military Government Team が毎月(半月)ごとに米第8軍司令部等に提出した活動報告
- ▶ 目的
 - ▶ 占領政策の遂行状況の監視
- ▶ 記載内容
 - ▶ 民事行政の状況(行政組織・住宅・闇市場・公共福祉・製造業・鉱業・漁業・林業・農業及び食糧配給・労働・財政)、政党と政治活動、連合軍最高司令官指令に対する日本政府の遵守状況、深刻な伝染病の発生地と程度、占領軍と日本国民の関係性、その他重要事項



内容の一部

▶ 闇市場 Black Market

- ▶ Black marketing activities in this Prefecture during report period have greatly declined. Among those arrested by police officials, are many Koreans ^{減少した}, who by investigation have been found to have been smuggled into Japan after being repatriated to Korea. ^{密入国した} ^{帰還した}

▶ 労働争議 Labor dispute

- ▶ Planned general walkout ^{ストライキ} by the National Railway Workers Union for 24 hours commencing 0000 hours, 15 Sep 46, against the Government proposal to discharge a group of Railway workers was suspended because of the far-reaching undesirable effects of such a strike.

